

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A9	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	近江 美保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	近江 美保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	近江 美保		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	2班		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mihoomi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化社会学部1号館2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2917		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 4・5限。ただし、不在の場合があるので事前に確認のこと。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。教科書の各回の「内容」に指示されている部分は、授業の前に読んでおくこと。また、教科書は毎回持参すること。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身につけることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。「大学で学ぶということ」の第一歩をここから踏み出しましょう。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)            授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する            自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる            授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る            自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)            授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する            *中央図書館2階のメディアルームで行います。事前に自分の長大IDとパスワードを確認しておくこと。            自習：2自習-の続き、資料収集ガイダンスで学んだことを整理し、まとめる</p>		

第4回	<p>知のモラルとマナー（第3課）</p> <p>授業： オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問（オフィスアワー）</p> <p>自習： 自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>
第5回	<p>問題発見からリサーチクエスチョンへ（第9課）</p> <p>授業： 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る</p> <p>自習： テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備〔2h〕 【CF助言】</p>
第6回	<p>本・論文を探す（第6・7課）</p> <p>授業： 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習： 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る</p>
第7回	<p>文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)（第13課）</p> <p>授業： リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習： 実際に文献表を作ってみる</p>
第8回	<p>リーディングと研究ノート作り（第8課）</p> <p>授業： 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る</p> <p>自習： 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】</p>
第9回	<p>調査から研究へ（第10課）</p> <p>授業： 問いと先行研究（文献）との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習： 文献の読解（続き）、リサーチクエスチョンとその意義を提案書にまとめる【CF助言】</p>
第10回	<p>グループ調査の設計（第2課）</p> <p>授業： 9自習- に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習： 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査</p> <p>授業： 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認（「FW入門」との接続）</p> <p>自習： 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)（第11課）</p> <p>授業： 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習： グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)（第12課）</p> <p>授業： 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習： 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業： 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する</p> <p>自習： グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)（第14課）</p> <p>授業： プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習： レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成【CF助言】</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B0	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	見原 礼子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	見原 礼子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	見原 礼子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)		
学生へのメッセージ / Message for students	・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)          授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する          自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる          授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る          自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)          授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する          自習：2自習-の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)          授業：オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)          自習：自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		
第5回	<p>問題発見からリサーチクエスションへ(第9課)          授業：個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る          自習：テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備【2h】          【CF助言】</p>		

第6回	<p>本・論文を探す(第6・7課)</p> <p>授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る</p>
第7回	<p>文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課)</p> <p>授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習: 実際に文献表を作ってみる</p>
第8回	<p>リーディングと研究ノート作り(第8課)</p> <p>授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る</p> <p>自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】</p>
第9回	<p>調査から研究へ(第10課)</p> <p>授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスションとその意義を提案書にまとめる【CF助言】</p>
第10回	<p>グループ調査の設計(第2課)</p> <p>授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査</p> <p>授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続)</p> <p>自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)(第11課)</p> <p>授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)(第12課)</p> <p>授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する</p> <p>自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課)</p> <p>授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成【CF助言】</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	首藤 明和		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	首藤 明和		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	首藤 明和		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shuto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部 1号棟 首藤研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード/Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)            授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する            自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる            授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る            自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)            授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する            自習：2自習-の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)            授業：オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)            自習：自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		

第5回	問題発見からリサーチクエスションへ（第9課） 授業： 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る 自習： テーマの絞り込みと「アビール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備〔2h〕 【CF助言】
第6回	本・論文を探す（第6・7課） 授業： 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る 自習： 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る
第7回	文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)（第13課） 授業： リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る 自習： 実際に文献表を作ってみる
第8回	リーディングと研究ノート作り（第8課） 授業： 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る 自習： 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】
第9回	調査から研究へ（第10課） 授業： 問いと先行研究（文献）との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る 自習： 文献の読解（続き）、リサーチクエスションとその意義を提案書にまとめる【CF助言】
第10回	グループ調査の設計（第2課） 授業： 9自習- に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする 自習： 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】
第11回	文献調査とフィールド調査 授業： 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認（「FW入門」との接続） 自習： 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】
第12回	プレゼンテーション入門(1)（第11課） 授業： 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る 自習： グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】
第13回	プレゼンテーション入門(2)（第12課） 授業： 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う 自習： 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】
第14回	研究発表会 授業： 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する 自習： グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する
第15回	レポート・論文執筆の基礎(2)（第14課） 授業： プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する 自習： レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】
第16回	まとめ レポート作成【CF助言】 TP成果最終報告会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森川 裕二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	森川 裕二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	森川 裕二		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)		
学生へのメッセージ / Message for students	・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)          授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する          自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる          授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る          自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)          授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する          自習：2自習-の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)          授業：オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)          自習：自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		
第5回	<p>問題発見からリサーチクエストへ(第9課)          授業：個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る          自習：テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備【2h】          【CF助言】</p>		

第6回	<p>本・論文を探す(第6・7課)</p> <p>授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る</p>
第7回	<p>文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課)</p> <p>授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習: 実際に文献表を作ってみる</p>
第8回	<p>リーディングと研究ノート作り(第8課)</p> <p>授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る</p> <p>自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】</p>
第9回	<p>調査から研究へ(第10課)</p> <p>授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスチョンとその意義を提案書にまとめる【CF助言】</p>
第10回	<p>グループ調査の設計(第2課)</p> <p>授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査</p> <p>授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続)</p> <p>自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)(第11課)</p> <p>授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)(第12課)</p> <p>授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する</p> <p>自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課)</p> <p>授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成【CF助言】</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	才津 祐美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	才津 祐美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	才津 祐美子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 13:30-15:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)		
学生へのメッセージ / Message for students	・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに: オリエンテーション(第1課) 授業: 担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する 自習: 学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる		
第2回	問いを立てる 授業: 質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る 自習: 卒業までの学びの設計図を描く 時間外: 個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする		
第3回	資料収集の基礎(第5課) 授業: 附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する 自習: 2自習- の続き		
第4回	知のモラルとマナー(第3課) 授業: オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー) 自習: 自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する		
第5回	問題発見からリサーチエスションへ(第9課) 授業: 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る 自習: テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備[2h] 【CF助言】		

第6回	<p>本・論文を探す(第6・7課)</p> <p>授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る</p>
第7回	<p>文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課)</p> <p>授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習: 実際に文献表を作ってみる</p>
第8回	<p>リーディングと研究ノート作り(第8課)</p> <p>授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る</p> <p>自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】</p>
第9回	<p>調査から研究へ(第10課)</p> <p>授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスチョンとその意義を提案書にまとめる【CF助言】</p>
第10回	<p>グループ調査の設計(第2課)</p> <p>授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査</p> <p>授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続)</p> <p>自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)(第11課)</p> <p>授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)(第12課)</p> <p>授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する</p> <p>自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課)</p> <p>授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成【CF助言】</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	波佐間 逸博		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	波佐間 逸博		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	波佐間 逸博		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hazama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部 1号館		
担当教員TEL/Tel	095-819-2922		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午後 (事前にメールにて連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード/Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)            授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する            自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる            授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る            自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)            授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する            自習：2自習-の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)            授業：オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)            自習：自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		

第5回	問題発見からリサーチクエスションへ(第9課) 授業: 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る 自習: テーマの絞り込みと「アビール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備〔2h〕 【CF助言】
第6回	本・論文を探す(第6・7課) 授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る 自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る
第7回	文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課) 授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る 自習: 実際に文献表を作ってみる
第8回	リーディングと研究ノート作り(第8課) 授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る 自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】
第9回	調査から研究へ(第10課) 授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る 自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスションとその意義を提案書にまとめる【CF助言】
第10回	グループ調査の設計(第2課) 授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする 自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】
第11回	文献調査とフィールド調査 授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続) 自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】
第12回	プレゼンテーション入門(1)(第11課) 授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る 自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】
第13回	プレゼンテーション入門(2)(第12課) 授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う 自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】
第14回	研究発表会 授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する 自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する
第15回	レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課) 授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する 自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】
第16回	まとめ レポート作成【CF助言】 TP成果最終報告会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	木村 直樹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	木村 直樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	木村 直樹		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-kimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部1号館1階		
担当教員TEL/Tel	多文化社会学部2年次		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身につけることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード/Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)            授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する            自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる            授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る            自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)            授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する            自習：2自習-の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)            授業：オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)            自習：自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		

第5回	問題発見からリサーチクエスションへ(第9課) 授業: 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る 自習: テーマの絞り込みと「アビール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備〔2h〕 【CF助言】
第6回	本・論文を探す(第6・7課) 授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る 自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る
第7回	文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課) 授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る 自習: 実際に文献表を作ってみる
第8回	リーディングと研究ノート作り(第8課) 授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る 自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】
第9回	調査から研究へ(第10課) 授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る 自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスションとその意義を提案書にまとめる【CF助言】
第10回	グループ調査の設計(第2課) 授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする 自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】
第11回	文献調査とフィールド調査 授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続) 自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】
第12回	プレゼンテーション入門(1)(第11課) 授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る 自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】
第13回	プレゼンテーション入門(2)(第12課) 授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う 自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】
第14回	研究発表会 授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する 自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する
第15回	レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課) 授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する 自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】
第16回	まとめ レポート作成【CF助言】 TP成果最終報告会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B6	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takizawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化1号館2F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2916		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身につけることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)            授業：担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する            自習：学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる            授業：質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る            自習：卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)            授業：附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する            自習：2自習-の続き</p>		

第4回	<p>知のモラルとマナー（第3課）</p> <p>授業： オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問（オフィスアワー）、メモした疑問の報告</p> <p>自習： 自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>
第5回	<p>問題発見からリサーチクエスチョンへ（第9課）</p> <p>授業： 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る</p> <p>自習： テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備〔2h〕、文献の読解〔CF助言〕</p>
第6回	<p>グループ調査の設計（第2課）</p> <p>授業： 5自習- に基づいて全員の前でテーマを提案する、グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習： 班ごとのグループワークを通してテーマを確定し、調査計画を立てる〔CF助言〕</p>
第7回	<p>本・論文を探す、文献表の作成（第6・7課）</p> <p>授業： 特定のテーマに関連する書籍・論文の探し方と文献表の作り方を学ぶ、書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習： 絞り込まれたテーマに関連する書籍・論文のリストを作る、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解〔CF助言〕</p>
第8回	<p>リーディングと研究ノート作り（第8課）</p> <p>授業： リーディングと研究ノート作りの基本を知る</p> <p>自習： 文献の読解と研究ノートの作成〔CF助言〕</p>
第9回	<p>調査から研究へ（第10課）</p> <p>授業： 問いと先行研究（文献）との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習： 文献の読解と研究ノートの作成（続き）〔CF助言〕</p>
第10回	<p>レポート・論文執筆の基礎(1)（第13課）</p> <p>授業： レポート・論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習： 問題の背景と先行研究をまとめ、調査計画書を作成する〔CF助言〕</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査</p> <p>授業： 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認（「FW入門」との接続）</p> <p>自習： 文献調査と予備的調査を行う〔CF助言〕</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)（第11課）</p> <p>授業： 予備的調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習： プレゼンテーションの準備を行う〔CF助言〕</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)（第12課）</p> <p>授業： 調査の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習： 調査データのブラッシュアップをする、合同研究発表会のプレゼンテーションを準備する〔CF助言〕</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業： 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する</p> <p>自習： グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)（第14課）</p> <p>授業： プレゼンテーションについてのまとめ、連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習： レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする〔CF助言〕</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成〔CF助言〕</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B7	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 英明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 英明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 英明		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文社会科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード / Key word	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)		
学生へのメッセージ / Message for students	・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに：オリエンテーション(第1課)  授業： 担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する  自習： 学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる  授業： 質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る  自習： 卒業までの学びの設計図を描く 時間外：個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課)  授業： 附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する  自習： 2自習- の続き</p>		
第4回	<p>知のモラルとマナー(第3課)  授業： オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問(オフィスアワー)  自習： 自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する</p>		
第5回	<p>問題発見からリサーチクエスションへ(第9課)  授業： 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る  自習： テーマの絞り込みと「アピール文」から「提案書」へブラッシュアップの準備【2h】  【CF助言】</p>		

第6回	本・論文を探す(第6・7課) 授業: 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る 自習: 絞り込まれたテーマに関して書籍・論文のリストを作る
第7回	文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)(第13課) 授業: リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、レポート論文執筆の基本的考えを知る 自習: 実際に文献表を作ってみる
第8回	リーディングと研究ノート作り(第8課) 授業: 文献表についてのディスカッション、リーディングと研究ノート作りの基本を知る 自習: 文献表のブラッシュアップ、主要文献の収集と図書館の活用実践、文献の読解【CF助言】
第9回	調査から研究へ(第10課) 授業: 問いと先行研究(文献)との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る 自習: 文献の読解(続き)、リサーチクエスションとその意義を提案書にまとめる【CF助言】
第10回	グループ調査の設計(第2課) 授業: 9自習-に基づいて全員の前で提案を行う、グループ調査のテーマを決め、班分けする 自習: 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】
第11回	文献調査とフィールド調査 授業: 調査計画についてのディスカッション、調査をする際の注意事項確認(「FW入門」との接続) 自習: 文献調査を行い、手分けして読む、予備的な調査を行う【CF助言】
第12回	プレゼンテーション入門(1)(第11課) 授業: 予備調査の手応えを報告する、プレゼンテーションの基本を知る 自習: グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】
第13回	プレゼンテーション入門(2)(第12課) 授業: 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、共同研究発表の方針を話し合う 自習: 調査データのブラッシュアップをする、共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】
第14回	研究発表会 授業: 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、ディスカッションに参加する 自習: グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する
第15回	レポート・論文執筆の基礎(2)(第14課) 授業: プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する 自習: レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】
第16回	まとめ レポート作成【CF助言】 TP成果最終報告会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B8	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(多文化社会学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小松 悟		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小松 悟		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小松 悟		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skomatsu @ nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部 1号館		
担当教員TEL/Tel	095-819-2915		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜14:30-16:00。事前にメールにて連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を大学での学びの世界へといざなうとともに、論理的思考とその表現方法を習得することで、多文化社会学部での学習を円滑に進めることをねらいとする。具体的には、多文化社会学と高校までの学びとの関連、および他の学問分野との関連について学んだ後、受講生自らが立てた問いを、能動的なグループ学習を通じて深めていくことによって、人文科学的な思考方法、グループワークの進め方、調査の計画と実施、文書やプレゼンテーションによる表現方法の概要を身につける。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>大学での学びの基本的構えを自分のものとするとともに、多文化社会学部の授業に参加するための基本的な知の技法を使って、長崎大学ナンバリング・システム水準コード1の科目の学びの成果を生み出すことができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>各回のテーマをめぐって、教員による導入的解説、グループワークを軸とした具体的な課題への取り組み、簡単な文献調査・フィールドワーク、文章作成演習、成果のプレゼンテーションとディスカッション、最終レポートの作成を通して、学生参加型の演習授業を実施する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>多文化社会学部で何を学び、何を身に付けることができるかの全体像をつかむところから始まり、学生としてのマナー、知的生産のための基本的考え方、そのためのスキルを学び、それらを用いて簡単な調査とその成果のプレゼンテーション、およびレポートの執筆へと展開していく。</p>		
キーワード/Key word	<p>大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>漢字文献情報処理研究会(編)『大学で学ぼう—知のスキルアップ15』好文出版(2013)。 参考書: 戸田山和久(2012)論文の教室 レポートから卒論まで(新版)、NHKブックス。 藤沢晃治(2004)「分かりやすい文章」の技術、講談社ブルーバックス。 他の資料や文献等は主としてLACSを使って配布</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>各回の演習課題(45%)、各回の議論・作業への参加度合い(30%)、学期末レポート(25%)</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>・「勉強から研究へ」、「沈黙は銅」、「脳より手を動かせ」をモットーに、知のフロンティアを開拓する意欲を持つことが何より大切です。</p>		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>はじめに: オリエンテーション(第1課) 授業: 担当教員と受講生の自己紹介、大学での学びの全体イメージを把握する 自習: 学生便覧を熟読し、質問事項をまとめる</p>		
第2回	<p>問いを立てる 授業: 質問への回答、大学での学びにおける自ら問いを立てることの重要性を知る 自習: 卒業までの学びの設計図を描く 時間外: 個人面談、いろいろなことに疑問を持ちそれをメモする</p>		
第3回	<p>資料収集の基礎(第5課) 授業: 附属図書館主催の資料収集ガイダンスに参加する 自習: 2自習- の続き</p>		

第4回	<p>知のモラルとマナー（第3課）</p> <p>授業： オリジナリティ、著作権、引用、不正行為、電子メール、教員研究室への訪問（オフィスアワー）</p> <p>自習： 自分の疑問点をグループワークのテーマにするための「アピール文」を書き教員・CFに送信する、 図書館で本を一冊借りて熟読する。</p>
第5回	<p>問題発見からリサーチクエストへ（第9課）</p> <p>授業： 個人的な問いから学術的・社会的意義のある問いへの展開の道筋を知る、 問いに答えるための書籍・論文の入手方法を知る</p> <p>自習： テーマの絞り込み、 図書館で本を一冊借りて熟読する（続き）、 読んだ本の要約を作成する。</p>
第6回	<p>本・論文を探す、文献表の意義と作成（第6・7課）</p> <p>授業： 本・論文を探してリストアップを行う。 リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ</p> <p>自習： 実際に文献表を作成する。</p>
第7回	<p>文献表の意義と作成とレポート論文執筆の基礎(1)（第13課）</p> <p>授業： リストアップした書籍と論文を使って文献表の作り方を学ぶ、 レポート論文執筆の基本的考えを知る</p> <p>自習： 実際に文献表を作ってみる</p>
第8回	<p>グループ調査の設計（第2課）</p> <p>授業： 文献表と自身の研究テーマを全員の前で提案を行う、 グループ調査のテーマを決め、班分けする</p> <p>自習： 班ごとのグループワークを通して、調査計画書を作成する【CF助言】</p>
第9回	<p>調査から研究へ（第10課）</p> <p>授業： 問いと先行研究（文献）との関連において研究の社会的・学術的意義が定まっていく過程を知る</p> <p>自習： グループ調査でのテーマに関する文献の探索、 リサーチクエストとその意義を提案書にまとめる【CF助言】</p>
第10回	<p>文献調査とフィールド調査(1)</p> <p>授業： 調査計画についてのディスカッション、 調査をする際の注意事項確認（「FW入門」との接続）</p> <p>自習： 文献調査を行い、手分けして読む、 読んだ本・文献の要約を作成する、 予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第11回	<p>文献調査とフィールド調査(2)</p> <p>授業： 調査計画についてのディスカッション、 調査をする際の注意事項確認（「FW入門」との接続）</p> <p>自習： 文献調査を行い、手分けして読む、 読んだ本・文献の要約を作成する、 予備的な調査を行う【CF助言】</p>
第12回	<p>プレゼンテーション入門(1)（第11課）</p> <p>授業： 予備調査の進捗を報告する、 プレゼンテーションの基本を知る</p> <p>自習： グループワーク文献リストの作成と文献ノートの共有 本調査を行う【CF助言】</p>
第13回	<p>プレゼンテーション入門(2)（第12課）</p> <p>授業： 文献調査と本調査の結果の速報版をプレゼンテーションする、 共同研究発表の方針を話し合う</p> <p>自習： 調査データのブラッシュアップをする、 共同研究発表のプレゼン準備をする。【CF助言】</p>
第14回	<p>研究発表会</p> <p>授業： 他のクラスと合同でグループ調査に関するプレゼンテーションを行う、 ディスカッションに参加する</p> <p>自習： グループワークを通して、「魅力的なプレゼン」のためのコツを共有する</p>
第15回	<p>レポート・論文執筆の基礎(2)（第14課）</p> <p>授業： プレゼンテーションについてのまとめ 連名でレポート・論文の書くためのポイントを確認する</p> <p>自習： レポート執筆の最終計画と責任分担を明確にする【CF助言】</p>
第16回	<p>まとめ</p> <p>レポート作成【CF助言】</p> <p>TP成果最終報告会</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001001	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	土肥 大次郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	土肥 大次郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	土肥 大次郎		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 6 0 8		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月 3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たった課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード/Key word	初年次教育、課題解決型学習、自己表現能力、コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション20点、レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に取り組んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成		

第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001002	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山路 裕昭		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山路 裕昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山路 裕昭		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001003	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	赤羽 良一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	赤羽 良一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	赤羽 良一		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akaba@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部407号室(赤羽良一研究室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2334		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16時 - 18時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 教養ゼミナール研究を行うに当たった課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード/Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		

第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001004	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 哲洋		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 哲洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 哲洋		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001005	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀内 伊吹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀内 伊吹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	堀内 伊吹		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001006	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	河合 史菜		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	河合 史菜		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	河合 史菜		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001007	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福田 正弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福田 正弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福田 正弘		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館4F第43講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001008	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 章能		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 章能		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 章能		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館6F演習室6-(9)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001009	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 泰		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 泰		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 泰		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]美術・技術教室2F美術科教育演習・資料室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001010	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菅野 弘之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	菅野 弘之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	菅野 弘之		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]美術・技術教室2F工芸実習・実験室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001011	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 登		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 登		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 登		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001012	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井口 均		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井口 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井口 均		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001013	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平田 勝政		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平田 勝政		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平田 勝政		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001014	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 甲介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 甲介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 甲介		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001015	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤井 佑介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤井 佑介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤井 佑介		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001016	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館2F第25講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001017	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	石部 邦昭		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	石部 邦昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	石部 邦昭		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション20点、レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001018	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 千秋		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 千秋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 千秋		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001019	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	峰松 和夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	峰松 和夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	峰松 和夫		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001020	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(教育)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 典生		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 典生		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 典生		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始		
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成		
第9回	中間発表 質疑応答		
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)		

第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001021	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	赤石 孝次		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	赤石 孝次		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	赤石 孝次		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001022	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	津留崎 和義		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	津留崎 和義		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	津留崎 和義		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001023	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小野 哲		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小野 哲		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小野 哲		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001024	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	片山 朗		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	片山 朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	片山 朗		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001025	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小山 久美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小山 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小山 久美子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001026	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	笹川 篤史		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	笹川 篤史		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	笹川 篤史		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001027	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	式見 雅代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	式見 雅代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	式見 雅代		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001028	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	薛 軍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	薛 軍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	薛 軍		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001029	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高木 かおる		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高木 かおる		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高木 かおる		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001030	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	津留崎 和義		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	津留崎 和義		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	津留崎 和義		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001031	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001032	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	成田 真樹子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	成田 真樹子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	成田 真樹子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001033	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 嘉弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 嘉弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 嘉弘		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001034	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	赤石 孝次		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	赤石 孝次		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	赤石 孝次		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001035	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井田 洋子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井田 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井田 洋子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001036	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	津留崎 和義		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	津留崎 和義		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	津留崎 和義		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001037	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	神園 健次		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	神園 健次		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	神園 健次		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001038	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小山 久美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小山 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小山 久美子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001039	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	式見 拓仙		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	式見 拓仙		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	式見 拓仙		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001040	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	穴倉 学		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	穴倉 学		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	穴倉 学		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001041	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島田 章		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	島田 章		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	島田 章		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001042	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001043	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林川 万理水		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	林川 万理水		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	林川 万理水		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001044	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001045	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 純哉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 純哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 純哉		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001046	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001047	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 高文		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 高文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 高文		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001067	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	七條 和子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	七條 和子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	七條 和子, 松山 睦美		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 3		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001068	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	二反田 隆夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	二反田 隆夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	二反田 隆夫		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学]チュートリアル室 6		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001069	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小池 雄太		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小池 雄太		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小池 雄太		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学]チュートリアル室7		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001070	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 邦彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 邦彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 邦彦		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 1		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001071	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有馬 和彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	有馬 和彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	有馬 和彦		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 2		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001072	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松坂 雄亮		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松坂 雄亮		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松坂 雄亮		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 3		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001073	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 武弥		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 武弥		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 武弥		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室4		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001074	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 憲穂		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 憲穂		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 憲穂		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学]チュートリアル室 6		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001075	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮田 康好		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮田 康好		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宮田 康好		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学]チュートリアル室7		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001076	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 聡司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 聡司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 聡司		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001077	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部医学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清水 悠路		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清水 悠路		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清水 悠路		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 3		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001078	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大石 和代		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]105フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7980		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 12:00～13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード/Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし。必要時には提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	なし		
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001079	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	澤井 照光		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	澤井 照光		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	澤井 照光		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]203チャトリル室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sawai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7990		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード/Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001080	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平野 裕子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平野 裕子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]202チャトリ教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001081	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	石松 祐二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	石松 祐二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	石松 祐二		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]104フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001082	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永江 誠治		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	永江 誠治		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	永江 誠治		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]104フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001083	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 智美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 智美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 智美		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]105フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001084	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 淳哉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 淳哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 淳哉		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]107フトリ教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬1年, 単位未修得者		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jun-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7964 (内線7964)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 18:00 ~		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。学習テーマを定めて、グループで学習を行い相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2) 計画立案能力や科学的思考能力を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	課題立案および情報収集について指導を行い、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、その成果発表、レポート作成を行うための指導・助言を行う。フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、医療系の話題を中心にグループワーク(立案・情報収集等)を行い、プレゼンテーションとレポート作成を行う。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料によりグループおよび個人を総合的に評価する。 グループレポート: 発表原稿		
学生へのメッセージ / Message for students	医療従事者におけるチームアプローチの基盤となる授業です。一つの課題に対してチームで解決を図る楽しみと実感してください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001085	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中原 和美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中原 和美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中原 和美		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]106フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001086	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岩永 竜一郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	岩永 竜一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	岩永 竜一郎		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]106フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001087	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(医学部保健学科)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 浩二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 浩二		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[保]107フィールド教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001088	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	馬場 友巳		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	馬場 友巳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	馬場 友巳		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001089	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 通		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 通		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 通		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001090	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	六反田 賢		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	六反田 賢		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	六反田 賢		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001091	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	住田 吉慶		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	住田 吉慶		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	住田 吉慶		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001092	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	榮田 智		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	榮田 智		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	榮田 智		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001093	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(歯学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岡安 一郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	岡安 一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	岡安 一郎		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001048	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	〔薬学〕本館5階リフレッシュルーム		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001049	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	甲斐 雅亮		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	甲斐 雅亮		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	甲斐 雅亮		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	〔薬学〕本館5階研修室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001050	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中山 守雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中山 守雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中山 守雄		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	〔薬学〕本館5階リフレッシュルーム		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001051	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	塚元 和弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	塚元 和弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	塚元 和弘		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学]チュートリアル室 5		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001052	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	尾崎 恵一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	尾崎 恵一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	尾崎 恵一		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	〔薬学〕本館4階セミナー室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001053	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	塚原 完		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	塚原 完		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	塚原 完		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[薬学] 本館 1F第1講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001054	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大庭 誠		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大庭 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大庭 誠		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	薬学部 3階 第1セミナー室		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001055	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(薬学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	麓 伸太郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	麓 伸太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	麓 伸太郎		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[医学] セミナー室 1		
対象学生(クラス等) / Object Student	医・保・歯・薬の1年次生及び単位未修得者		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医学科・保健学科・歯学科・薬学科・薬科学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	ある課題に関し、医学・歯学・薬学の混成メンバーによるグループワークを行い、最終的にプレゼンテーション、レポート作成をおこなう。 フィールドワークも含め、文教あるいは坂本キャンパスを中心に授業を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	授業を通じて、 教養ゼミナールガイダンス 資料収集ガイダンス(図書館利用ガイダンス) グループワーク(立案・情報収取等) グループディスカッション 発表会にてプレゼンテーション レポート作成 等を行う。		
キーワード / Key word	多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教養ゼミナールへの取り組み方、授業への参加度、発表、提出された学習資料により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう!		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010B9	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 俊幸		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 俊幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 俊幸		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学]中庭第12講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 修司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 修司		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第6講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大貝 猛		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大貝 猛		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大貝 猛		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟3F大講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	辻 峰男		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	辻 峰男		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	辻 峰男		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 3F 第24講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは、コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが、担当教官の裁量で決める。ただし、第1回目のガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介、第2回目の図書館ガイダンス、および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は、“工学”、“科学”に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは、3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分)、発表指導、グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鄭 国斌		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鄭 国斌		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鄭 国斌		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟2F多目的ホール		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中野 正基		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中野 正基		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中野 正基		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 2F 第21講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C6	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 聖三		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 聖三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 聖三		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 3F 第8講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C7	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	榎崎 修二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	榎崎 修二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	榎崎 修二		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学]サイエンス&テクノラボ棟2Fセミナー室1		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C8	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大嶺 聖		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大嶺 聖		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大嶺 聖		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟23		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010C9	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	畠山 智充		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	畠山 智充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	畠山 智充		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第1講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にするが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第3講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 哲夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 哲夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 哲夫		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第2講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	樋口 剛		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	樋口 剛		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	樋口 剛		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 3F 第23講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	兵頭 健生		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	兵頭 健生		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	兵頭 健生		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟2F208講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは、コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが、担当教官の裁量で決める。ただし、第1回目のガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介、第2回目の図書館ガイダンス、および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は、“工学”、“科学”に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは、3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福永 博俊		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福永 博俊		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福永 博俊		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 3F 第23講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D6	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤島 友之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤島 友之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤島 友之		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟1F108講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D7	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小林 和朝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小林 和朝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小林 和朝		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学]サイエンス&テクノラボ棟セミナー室2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D8	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 孝文		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 孝文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 孝文		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 2F 第2 講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010D9	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤山 寛		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤山 寛		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤山 寛		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 2F 第21講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟2F207講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 浩		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 浩		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 浩		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松永 昭一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松永 昭一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松永 昭一		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第4講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村上 裕人		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村上 裕人		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村上 裕人		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟2F208講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	桃木 悟		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	桃木 悟		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	桃木 悟		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第1講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F6	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森山 雅雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	森山 雅雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	森山 雅雄		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学]中庭第12講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F7	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	矢澤 孝哲		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	矢澤 孝哲		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	矢澤 孝哲		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第5講義室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F8	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	安武 敦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	安武 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	安武 敦子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 3F 第8講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。 2) クラス分けは, コース混在型とする。 3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。 4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。 5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010F9	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 敬彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 敬彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 敬彦		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 2号館 2F 第2講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010G1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	馬越 啓介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	馬越 啓介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	馬越 啓介		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 2F 第4講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010G2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(工学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉武 裕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉武 裕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉武 裕		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[工学] 1号館 3F 第9講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, 自主的に知的活動に取り組み, 指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に, 口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自主的に課題探求ができる。</li> <li>2) 論理的な思考ができる。</li> <li>3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。</li> <li>4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 30クラスで実施する。実質13~14名のクラス編成となる。</li> <li>2) クラス分けは, コース混在型とする。</li> <li>3) 講義内容は基本シラバスを参考にすが, 担当教官の裁量で決める。ただし, 第1回目のガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介, 第2回目の図書館ガイダンス, および第14回目のプレゼンテーション大会は必ず行う。</li> <li>4) 調査課題は, “工学”, “科学” に関係するものとする。</li> <li>5) 調査課題を行うグループは, 3名以上を基本とする。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	能動的学習, 理論的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など)</li> <li>・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど)</li> <li>・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど)</li> <li>・レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど)</li> </ul>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明, 自己紹介		
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス		
第3回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第4回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導		
第5回	個人発表 (発表5分+質問1分), 発表指導, グループ分け(3~7名一組)		
第6回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第7回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集およびグループディスカッション		
第9回	プレゼンテーションに関する指導		
第10回	プレゼンテーションに関する指導		
第11回	プレゼンテーション資料の作成		

第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A0	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田井村 明博		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田井村 明博		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田井村 明博		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 229 - 3 打合せ会議ゼミ室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 啓		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 啓		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 啓		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 3 4 2 番教室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	朝倉 宏		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	朝倉 宏		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	朝倉 宏		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 341番教室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飯間 雅文		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飯間 雅文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飯間 雅文		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 2 4 2 番教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	i i m a @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部実験棟2階環238		
担当教員TEL/Tel	095-819-2765		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日10時半~12時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。  科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。  文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。  学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>概要 大学および学部ガイダンス、班別作業、テーマ決定、調査、プレゼンテーション、レポート作成</p> <p>第1回 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介  第2回 専門教育科目の履修ガイダンス  第3回 環境科学へのいざない(講義)  第4回 資料収集ガイダンスの受講  第5回 グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義  第6回 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション  第7回 テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画書の報告  第8回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告  第9回 中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討  第10回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告  第11回 グループディスカッション、進捗状況・経過報告  第12回 レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成  第13回 レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成  第14回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出  第15回 総合討論会(講評、総括)</p>		
キーワード/Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教養セミナーに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40%

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	馬越 孝道		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	馬越 孝道		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	馬越 孝道		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 4 4 1 番教室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A6	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白川 誠司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	白川 誠司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	白川 誠司		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 117 学生実験室B(1F)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010A7	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 貴之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 貴之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 貴之		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 3 4 2 番教室		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takeshita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環335号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2738		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード/Key word	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		

第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001094	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	五島 聖子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	五島 聖子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	五島 聖子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 4 4 1 番教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	gotos@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環405		
担当教員TEL / Tel	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木9:00-10:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline/Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナーに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画書の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		

第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001095	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	杉村 乾		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	杉村 乾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	杉村 乾		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 417-1 オープンラボ		
対象学生(クラス等) / Object Student	環境科学部 1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-sugimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境本館 426室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日午前10~12時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	環境問題に焦点を当てつつ、生態系と社会の関係について、様々な事例を通して多面的な角度から考える能力を養うとともに、基礎的な知識を習得する。		
授業到達目標 / Goal	環境問題の背景、生態系と社会の関係、解決への道筋など、根本的な事柄が理解できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	生態系と社会の関係について、どのように捉えればよいか考えるために選ばれた教科書を輪読しつつ、適宜、板書などによって解説を与える。また、文献検索、野外観察などの演習を行う。さらに、各自テーマを選び、問題のとらえ方、解決への道筋などについて考えさせるとともに、情報収集なども含め、指導を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	生態系と社会について考えるに当たって、適切な題材の一つである生物多様性を取り上げ、入門書の内容に沿った考察を行う。次いで、環境問題に対して疑問を投げかけている書物を取り上げ、現実に照らした考察を行う。		
キーワード / Key word	生態系と社会、環境問題の理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	生物多様性とは何か 偽善エコロジスト		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート(30%) 演習での発表(70%)		
学生へのメッセージ / Message for students	生態系から受ける恩恵なしで、我々は生きていくことはできません。一方で、日本は豊かな自然、四季に恵まれています。環境問題は幅広く、複雑、不明瞭なことが多いですが、ゼロから学ぶ気持ちでチャレンジしましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境問題とは何か(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	地球規模と地域レベルの考察; 課題研究テーマの選択		
第6回	生物多様性と社会(1)(輪読)		
第7回	生物多様性と社会(2)(輪読)		
第8回	生物多様性と社会(3)(輪読)		
第9回	野外学習: キャンパス内外の自然環境		
第10回	課題研究についての中間報告、レポートの書き方について		
第11回	環境問題は本当に深刻なのか?(1)(輪読)		
第12回	環境問題は本当に深刻なのか?(2)(輪読)		
第13回	環境問題は本当に深刻なのか?(3)(輪読)		
第14回	レポート報告、ディスカッション		
第15回	まとめ、疑問点についてのディスカッション		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001096	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	早瀬 隆司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	早瀬 隆司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	早瀬 隆司		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 409 学系セミナー室(4F)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001097	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	片山 健介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	片山 健介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	片山 健介		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 419 地域環境データ解析室1(4F)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenkata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環424		
担当教員TEL/Tel	095-819-2737		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜14:00-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード/Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p> <p>レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		

第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001098	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 宏則		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 宏則		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 宏則		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画書の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001099	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(環境科学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	和達 容子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	和達 容子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	和達 容子		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[環境] 4 4 1 番教室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養ゼミナールを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	大学および学部ガイダンス, 班別作業, テーマ決定, 調査, プレゼンテーション, レポート作成		
キーワード / Key word	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方、ディスカッションへの積極的参加 30%          プレゼンテーション 30%          レポート 40%</p>		
学生へのメッセージ / Message for students	専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身につける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介		
第2回	専門教育科目の履修ガイダンス		
第3回	環境科学へのいざない(講義)		
第4回	資料収集ガイダンスの受講		
第5回	グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義		
第6回	取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション		
第7回	テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告		
第8回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第9回	中間発表会の実施、グループ間討論、方向性について再検討		
第10回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第11回	グループディスカッション、進捗状況・経過報告		
第12回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		
第13回	レポートおよびプレゼンテーションの準備と作成		

第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出
第15回	総合討論会（講評、総括）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001056	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋 勝康		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋 勝康		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋 勝康		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001057	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小田 達也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小田 達也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小田 達也		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的雙方向的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001058	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	河邊 玲		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	河邊 玲		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	河邊 玲		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]ゼミ室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001059	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 朝美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 朝美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 朝美		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001060	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 明德		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 明德		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 明德		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]第1講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的雙方向的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001061	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 健一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 健一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 健一		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]第3講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001062	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	和田 実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	和田 実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	和田 実		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001063	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菅 向志郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	菅 向志郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	菅 向志郎		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]大講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的雙方向的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001064	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平坂 勝也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平坂 勝也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平坂 勝也		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]第2講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001065	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 昌一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 昌一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 昌一		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]第4講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150581001066	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール(水産学部)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松下 吉樹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松下 吉樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松下 吉樹		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[水産]第1講義室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	1クラス10名程度の水産学部生で構成し、1名の学部教員が前期を通じて担当する。尚、学習スキルを高めるための講義は大学教育イノベーションセンター教員、資料収集ガイダンスは附属図書館職員が主担当。 到達目標： 高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。		
授業内容 / Class outline / Con	学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的双方的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。また、教養ゼミナールのテーマは、大学教育のオリエンテーション機能を持つこと、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりを重視する。 進捗状況によって、授業内容、講義室等の変更もありうるので、必ず掲示板を確認すること。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介		
第2回	アクティブラーニングで学ぶコツ(担当：岡田佳子准教授(大学教育イノベーションセンター))		
第3回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎		
第4回	レポートの作成と提出		
第5回	情報リテラシー(1)：情報を冷静に扱う(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第6回	情報リテラシー(2)：客観的な分析、引用、盗作・盗用(担当：若菜啓孝教授(大学教育イノベーションセンター))		
第7回	資料の収集ガイダンス(附属図書館)		
第8回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む)		

第15回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備、最終発表会 反省と総括等を含む）
第16回	